帯広・十勝も深い悲しみ

天皇陛下 崩御

官公庁など一斉に弔旗

静かにご冥福を祈る

敗戦、復興、経済大国へと激動の道を歩み続けた「昭和」は終えんを迎えたー。病床に伏されていた天皇陛下は七日午前六時三十三分、崩御された。その知らせは帯広・十勝の市民の間に深い悲しみとなって伝わった。陛下の崩御の報を受け、官公庁、商店街、一般家庭では黒いリボンを付けた弔旗を掲げる一方、正月の慶賀を示すしめ飾り、門松をはずす所が見られた。また、新年会では中止、縮小するところが相次いだ。住民、街は平静さを保ち、昭和最後の一日が過ぎていった。

「天皇陛下崩御」を知らせる本紙号外を見る市民＝帯広市西二南八

田本市長は略礼服で登庁

市役所　帯広市役所でも午前九時の始業前からテレビ、ラジオニュースで天皇崩御を知った職員が午前八時ごろから集まり、緊張した雰囲気に包まれた。田本憲吾帯広市長も略礼服で午前八時に登庁。早速、市長室で両助役、各部長らと打ち合わせを行い、午前九時三十五分、庁内放送で「戦後の復興期、二十九年に帯広を訪れられた際、温かい励ましを受けた。市民とともに心からごめい福をお祈り申し上げたい」と哀悼の気持ちを伝えた。

このあと、庁議を行い、今後の行事関係についての対応を協議、十日に行われる市民文化ホールのこけら落としの式典、記念公演について現在、対応を関係者と話し合っているが、十日正午からの午さん会は中止。閣議決定の十二日までの六日間、歌舞音曲を伴うものについては差し控える方針に準じる。公共施設には半旗、弔旗を掲げ、弔意を表す。また田本市長は八、九日の東京出張をとりやめた。

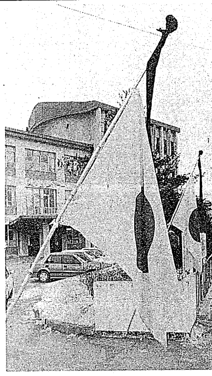
予定通り業務

国体事務局　皇族をお迎えする予定で準備を進めている、二十八日開幕のはまなす国体。帯広市実行委員会事務局では局員がテレビニュースを注意深く見て、政府筋の記者会見が行われた際にはメモを取る職員も。「国体は予定通り行われるのか」と電話での問い合わせも相次いだ。国体まであと二十一日。小林弘毅局長は「準備期間が残りわずか。一日たりとも無駄には出来ません」と話し、予定通りの業務が行われた。

皇族行啓については、大会を主催する日本体育協会と宮内庁、また、道と協議の上に正式決定の運びとなるが、皇室が約五十日間にわたり喪に服することになるため、現時点では行啓は行われないことになりそうだ。

十勝支庁　十勝支庁では、総務課の職員が午前八時過ぎに登庁、午前八時半、正面のポールに半旗を掲げて弔意を表した。また「大喪中の国旗掲揚方ノ件」に従って屋内の国旗に添える黒布を用意するため、物品庫から暗幕を持ち出して急きょ作製。同九時十二分、支庁長室の国旗と道旗を弔旗掲揚するなど慌ただしい動きとなった。

一方、市町村の連絡に当たる振興課でも職員が早めに登庁、道からの正式支持に対する待機態勢をとった。しかし道からの第一報が午前十一時三十分と中央発表よりかなり遅れたため、この間に市町村からの問い合わせが相次ぎ、テレビのニュースをにらみながら対応に追われていた。



半旗を掲げた帯広市役所

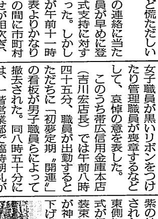
窓口は通常営業

金融機関　帯広市内の金融機関では、窓口業務は通常通りだったが、ショーウインドー消灯、BGMの中止、華美なポスター、看板の撤去など、慌ただしい動きもみられた。また、女子職員が黒いリボンをつけたり管理職員が喪章するなどして、哀悼の意を表した。

このうち帯広信用金庫本店（吉川宏店長）では午前八時四十五分、職員が出勤するとただちに「初夢定期〝開運〟」の看板が男子職員らによって撤去された。同八時五十分には、一階営業部で臨時朝礼が行われ、吉川店長が職員六十人に天皇陛下が崩御されたことを伝えた。また、窓口営業は通常通り行い、得意先へのセールス活動は自粛するよう訓示した。

仮設神殿で遥拝式

帯広神社　帯広神社では新年から十四日まで、本殿に飾る予定の紫の神幕と松飾りが取りはずされた。午前九時からは境内東側に仮設された神殿で遥拝式が行われた。遥拝式では白装束に身を包んだ三人の神官が神殿に向かい、深々と頭を下げ、玉ぐしを奉てんした。



帯広神社では遥拝式が静かに行われた(午前九時)

「次の元号に関心」

街の声　天皇陛下崩御の報は帯広・十勝の市民の間にまたたく間に伝わった。松の内が明ける七日、街はまだ正月気分の余韻を残しているはずだったが、新年の慶祝の雰囲気は消え、喪に服した形に。天皇陛下の崩御に対する市民の声を拾ってみた。

帯広市内の商店街では開店前にしめ飾りや門松を外して、黒いリボンを国旗に付けた弔旗を掲げる作業が慌ただしく行われた。帯広市西三南八、河野園茶舗で午前八時四十分ごろ弔旗を掲げていた同店従業員の多和田仁さん(三二)＝帯広市西十七北一＝は「長い間のご闘病でつらかったことだろうと思います。これで昭和が終わるわけですが、次の元号が何になるのか、関心があります」と話した。道路には弔旗を揚げたタクシーも。

同八時五十分ごろ、高校受験の冬期講習に向かう途中の共栄中三年、鈴木健悟君(一五)＝音更町木野西通り＝は「僕の育った昭和は平和で日本が栄えて、なかなかいい時代だった。その昭和が終わるのは少し残念な気持ち」。市内中心部には出勤する人の姿が増えていった。

帯広市総合福祉センターでは土曜会のカラオケ、踊り、囲碁の初げいこが行われた。いつもなら約六十人のお年寄りが顔をそろえるが、この日は二十人ほど。老人クラブ連合会理事を務める尾関喜三郎さん(七〇)＝帯広市西八南三十四＝は「天皇を尊敬してきた年齢だけに、みなさん気を落としているようです」。会場には「きょうは歌う気になれない」と欠席の電話が相次ぎ、いつもにぎやかな会場はシーンと静まっていた。

本社号外　食い入る市民

「天皇陛下、崩御」の大見出しの十勝毎日新聞号外は帯広市内各所で配布。また、特報が掲示されそれに見入る市民の姿も見られた。午前十時ころ、藤丸デパートで号外を読んでいた帯広市西六南三十二、自営業、中尾キミエさん(六七)は「以前、お亡くなりになった天皇が西二条通りをパレードした時、沿道で旗を振ったことが懐かしく思い起こされます」と話していた。

店員の胸に黒リボン　藤丸

商店街　松の内の土曜日とあって、帯広市内の商店街はいつもなら多くの買い物客でにぎわうが、この日は午前中から門松、しめ飾りが取り外され、弔旗が掲げられるなど、ひそやかなムードが漂った。

藤丸では七日から冬物処分セールの「赤幕の市」を予定通り始めたが、前日準備したばかりの幕を急きょ取り外し、天井からの飾り物も撤去。BGMは哀悼の意を表すものに変えたほか、店員は胸に黒いリボンを付け、来店客の呼び込みは避けた。

また、夜の街を彩っていたネオンやイルミネーションは二日間、または三日間消すことを決めたところも多く、ひっそりとしたムードとなった。

大型店前のジャンボ門松も撤去（藤丸前）

出初め式中止も

町村　各町村でも午前八時すぎには役場前などに半旗をかかげて弔意を表した。この日に予定されていた私設を含め十消防団の出初め式は、音更で中止し、訓示式に切り替えたほか、ほとんどの消防団が式内容を変更、また音更町の緑陽台剣道少年団の鏡開きが中止されるなど行事の主催者は対応の検討に追われた。

各役場では「崩御」のニュースで急きょ出勤した総務関係の職員がまず半旗を掲げたが、執務態勢については「支庁からの指示待ち」といったところが多く、それぞれ通常の執務をしている。

一方、新たな対応を迫られたのはこの日、出初め式を予定していた音更、士幌、上士幌、新得をはじめ池田町の大森、青山の私設を含めた十消防団。このうち音更消防団（森一郎団長）はパレードなど出初めの行事をやめ、午前十時から児童会館で集まった団員ら百五十人が黙とうを捧（ささ）げ、森団長の訓示、金子尚一管理者（町長）があいさつをして解散、懇親会もとりやめた。

新得消防団（原和雄団長）では午前九時から消防署前での修祓（ばつ）式に先立って原団長ら四十八団員が黙とう、冥（めい）福を祈ったあと、無火災を祈願して式を終えたが、式に参列した団員、来賓らの表情は硬く、悲しみの様子がうかがえた。また、上士幌消防団（鈴木甲平団長）は消防庁舎二階の会議室で鈴木団長の訓示をするだけにとどめた。

東十勝消防事務組合少年婦人防火協議会（山崎輝昭会長）は、八日に予定していた池田町商工会婦人部防火クラブに対する功績表彰式を延期した。

集まった団員ら150人が黙とうした音更消防団（午前10時）

新年会のキャンセル相次ぐ

宴会場　七日は土曜日とあって帯広市内のホテルや宴会場は新年会などの予約がかなりあったが、大半は中止、実施するところも規模を縮小するなどの対応をしている。

「新年会ではほぼ満員でしたが、キャンセルが相次いでいます」（グランドホテル）、「九件の新年会が入っていましたが、中止もしくは縮小に変更しています」（ウエディングプラザみやもと）、「三件の新年会はいずれも中止」（東急イン）と新年会は軒並みキャンセル。この日は仏滅のため、結婚式の予定は当初から無かった。

閉じこもるお年寄り

老人ホーム　老人ホームのお年寄りたちも悲しみに沈んだ表情。帯広市内の普仁園では、前日まではお正月とあってホールでゲームなどが行われていたが、七日は朝から部屋に閉じこもる人が多く、「いつもと全く違うムード」（畑宏明園長）となった。

飾り気のない素朴なお人柄

天皇陛下の崩御は十勝住民にも衝撃となって走り、深い悲しみにつつまれている。陛下は戦前、戦後合わせて三度帯広・十勝をご訪問されているが、十勝の関係者に陛下の思い出などを語ってもらった。

◇　◇

田本憲吾帯広市長　大行天皇におかれましては、本市に三度ご来帯賜わり頂いたところであります。特に戦後間もない昭和二十九年には平原学園などをご視察なされ、園生をはじめ市民に温かい励ましのお言葉を賜わり、多くの市民が深い敬愛の念を抱きました。

また、私も秋の園遊会御在位六十年式典に参列させて頂き陛下にお会いし深く感激をいたしたことを今改めて思い起こしております。

この度の訃報に接し、市民とともに衷心より深く哀悼の意を表しごめい福をお祈り申し上げます。

川上直平帯広商工会議所会頭　ご快癒（ゆ）を心からご祈念いたしておりましたが、ただいま、陛下の崩御の報にせっし、誠に、おいたましい限りであります。顧みますと、陛下は、歴代天皇の中で、最長の六十二年間ご在位でございました。昭和は、まさに、激動の時代で、陛下は常に我が国の平和と繁栄をなにより願っておられたことと存じます。陛下の御霊（みたま）がいつまでも、この日本をお守り下さいますよう、そして陛下が安らかにお眠り下さいますよう、心からお祈りいたします。

矢地広三十勝町村会長　一日も早くご回復、元気な姿を見せてくれることを念願していましたのにー。素晴らしい陛下でした。ただただ心から哀悼の意を表するだけです。戦前戦後を通して六十数年、日本のために一番ご苦労されたのが陛下だと思っています。昭和十一年、帯広中学三年の時、帯広の演習で見えられた際に、陛下を間近にご拝顔したのが今も脳裏の奥に焼きついています。

嶺野侑帯広市議会議長　陛下は、歴代の天皇の中でも最もご苦労された方だっただけに、誠に哀惜の念に堪えません。昭和六年生まれの私にとっては、昭和とともに歩んで来た世代と言ってよく、万感の思いです。

元国務大臣・本名武さん　どうかご平癒をとお祈りいたしておりましたのに、残念でなりません。五十八年春の叙勲（勲一等）で、陛下の手からお渡しいただき、お言葉も賜ったことが生涯の思い出になりました。陛下は本当に気さくなお人柄でございました。意外に思われるかも知れませんが、話し方も一般社会人とまったく同じ。その気さくさが、広く国民に知られていないところがある、と私は思います。本当に〝人間天皇〟そのものの生き方をなされた立派なお方と思います。

元帯広市議会議長・前川博さん　いろいろな変遷のあった風雪厳しい時代の中、ここまで頑張ってこられた強じんな精神力には深く敬服しています。巨木が大地に倒れたような印象で、胸にグーンとこみあげてくるものがあります。

私は二度ほどお目にかかっていますが、人格、品性とも素晴らしいお方だと感じました。飾り気のない素朴なお人柄で、頭を振りながらみんなの話を聞いていたお姿が目に浮かびます。言葉で表せないほど偉大な方だったと思います。

故陛下の思い出

足寄消防団長・市原四四三さん　天皇陛下のご病状を心配して毎日、近くの神社でご回復を祈っていただけに残念でなりません。昭和十一年の秋季大演習で釧路市に行幸された時は、ご入浴される湯水の調整や運搬をさせていただき、感無量であったことや、消防の仕事で表彰を受け、上京してお会いした時のやさしいお顔など、まるで昨日のことのように思えます。三カ月以上も病魔と戦い続けてこられた陛下。崩御が残念でなりません。

笠井皮膚科医院院長・笠井治男さん　陛下の訃報に接して、ただただ胸がつまる思い、悲しい気持ちでいっぱいです。精神的な支えを失った思いです。陛下には昭和十一年、当時在学していた帯広中学（現柏葉高）が緑ケ丘飛行場で御親閲拝受の光栄を担った時と、東大の学生だった十七年の青少年学徒へ勅語をいただいた時の二度、お近くで接することができました。国が終戦後の混乱を乗り越え、今の繁栄を迎えることができたのも、陛下のお陰ではないでしょうか。

間近にご拝顔、今も脳裏に…

大空会館勤務・佐川正寿さん　崩御のニュースを聞き、頭から血が引いていくような気持ちで、がくぜんとしました。なんとかご快癒をーと祈ってきたのですが…。昭和二十九年来帯の時、陛下が畜大をご視察された時に、私は事務職員として近くからお姿を拝見、感激したことを思い出します。ごめい福をお祈りしています。

郷土史研究家・棚瀬善一さん　ニュースを見た時には非常に驚き、涙がこぼれました。昨年九月から毎日朝と夜、仏壇に向かいご平癒を祈っており、今朝もお祈りをしたばかりだったのですが…。私はご来帯や叙勲の時、四度ほどお目にかかっています。昭和十一年来帯の際、式典の間、微動だにしなかった陛下のお姿が強く印象に残っています。真正面からお言葉を頂いた時の感激、陛下の笑顔などもろもろのことが頭をよぎっています。

音更の郷土史研究家・久保吉春さん　音更町の広報係長をしていた関係で二十九年の行幸の際、郷土の特産品をお見せする天覧係に任命され、陛下とお会いしました。宿舎の十勝川温泉で散歩をなさった時、ポツリと「自然はいいなあ」と独り言をお話しになられた時に心のやさしい方だと感じました。長い間の闘病生活でかなり苦しまれたのではないでしょうか。特にここ数日は心配していました。今は、長い間おつかれさまでした、という気持ちでいっぱいです。戦前、戦後を通しての国民の心の支えを失い、残念でなりません。

農協組合長会議と新年交礼会中止

七日午後三時半から、十勝川温泉ホテル大平原で開かれる予定だった十勝地区農協組合長会議と新年交礼会は、天皇陛下の崩御により急きょ中止になった。

十勝支庁に弔問記帳所開設

昨年九月二十六日に十勝支庁に開設されたお見舞いのための記帳所は、崩御の一報後、直ちに閉鎖された。代わって弔問のための記帳所が八日午前十時に開設される。期間は十六日までの九日間、午前十時ー午後四時。なお、お見舞いの記帳は五千九百八十九人に達した。

当番医

(8日)

〔受付は午前九時から午後五時まで〕
◇内科・小児科＝▽近藤病院、東五南二十㉒3277▽菅野内科医院、西八南九㉓8880
◇産婦人科＝▽本間産婦人科医院、東一南九㉖3456
◇外科＝▽真鍋外科医院、西五南四㉓5946
〔受付は午前九時から午後四時まで〕
◇歯科＝▽松崎歯科医院、西五南十四㉓5627

久野寿吉さん（ひさの・ひさよし）＝音更町新通一＝居城飼料勤務、久野寿雄さんの父。療養中だったが、六日午後二時、死去した。八十一歳。喪主は妻、マツヱさん。

村瀬イトノさん（むらせ・いとの）＝芽室町西一ノ四＝元雪印乳業勤務、村瀬信一さんの母。元新嵐山荘支配人、高玉金光さんの義母。療養中だったが、七日午前五時三十分、死去した。八十六歳。喪主は長男、信一（しんいち）さん。

竹田惣太郎さん（たけだ・そうたろう）＝更別村本町＝更別村役場収入役、竹田力さんの父。大樹町農業協同組合営農部長、片桐安雄さんの義父。心不全のため、六日午前七時十分、死去した。八十八歳。喪主は妻、ミヨさん。

母 **村瀬イトノ**儀 病気療養中のところ、一月七日午前五時三十分、八十六歳をもって永眠致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。
おって葬儀は左記により執り行います。

記

一、通夜　一月八日午後七時
一、葬儀　一月九日午前十時
一、場所　真浄寺
清水町御影東六条一丁目☎01566③2042

昭和六十四年一月七日
芽室町西一条四丁目

喪主 長男　村瀬信一
　　　　　村瀬冴子
長女(芽室町)　高玉金光
　　　　　高玉千鶴子
二男(福岡市)　村瀬克彦
　　　　　村瀬富士子
二女(釧路市)　福田晃夫
　　　　　福田田鶴子
三男(大宮市)　村瀬行雄
　　　　　村瀬文子
四男(札幌市)　村瀬邦夫
　　　　　村瀬寿子
四女(芽室町)　宮田捷一
　　　　　宮田八重子
孫代表(京都市)　村瀬篤
親戚代表(御影)　村瀬藤二
ほか　親戚一同
葬儀委員長 愛生町内会会長　渡辺義男

夫 **竹田惣太郎**儀 心不全のため、一月六日午前七時十分、八十八歳の天寿を全うし永眠致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。
おって葬儀は左記により執り行います。

記

一、通夜　一月七日午後六時
一、葬儀　一月八日午前十時
一、場所　更別憩の家
更別村本町 ☎(52)2666

昭和六十四年一月七日
更別村本町

喪主　竹田ミヨ
施主 長男　竹田力
　　　　　竹田ツル
長女(埼玉県)　花田昭子
二女(大樹町)　片桐安雄
　　　　　片桐絹子
三女　竹田律子
孫代表(埼玉県)　花田弘樹
ほか　親戚一同
葬儀委員長 本町区区長　小刀禰博

夫 **久野寿吉**儀 病気療養中のところ、一月六日午後二時、八十一歳をもって永眠致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。
おって葬儀は左記により執り行います。

記

一、通夜　一月七日午後六時
一、葬儀　一月八日午前十時
一、場所　新通会館
音更町新通八丁目四☎㊷2665

昭和六十四年一月七日
音更町新通一丁目

喪主　久野マツヱ
施主　久野寿雄
　　　　　久野由美
　　　　　山岡忠直
四女　山岡喜美江
ほか　親戚一同
葬儀委員長 新生町内会会長　折野正義